

CHIHOMEN NEWS



高校生ビジネスグランプリ in 斑鳩 ～次世代を担う高校生と共に考える地方創生～



奈良財務事務所では、若手で組織するちほめんを中心に、地方創生支援の取組で、「高校生ビジネスグランプリ in 斑鳩」の後援として、当グランプリの運営をサポートいたしました。

斑鳩町は、奈良県北西部に位置し、聖徳太子が建立した法隆寺で有名な、歴史ある街です。そんな斑鳩町で、当グランプリの主催者である斑鳩町商工会女性部（以下、「女性部」という。）は、女性特有の感性と発想をもって地域振興活動をしている団体です。

当グランプリは、次世代を担う若者の力を最大限に引き出すことが大切という考えのもと、「自ら考え、行動する力」を養うとともに、**地域への工業者に対する理解を深め、「今の自分の思い」を形にすることを目標に、企業教育の一環として平成29年から開催されています。**

STEP.1 女性部の地域活性化への熱い思いに応え プロジェクト始動へ

きっかけは、平成29年11月に和歌山財務事務所が主催した「キラキラ女子はばだけプロジェクトin和歌山」でした。このイベントに奈良県からの唯一の参加団体として女性部にご参加いただいたことが縁で、奈良財務事務所と初めて接点を持つことになり「高校生ビジネスグランプリ in 斑鳩」の存在を知りました。

高校生ビジネスグランプリを通じて、**女性の目線から事業（商売）について、若い世代と接し教えていくことを地域活性化の第一歩とし、地域を育てていきたいという熱い思いに、奈良財務事務所ちほめん（以下、「奈良ちほめん」という。）も感銘を受けました。**同時に、女性部からは、当グランプリの開催にあたり、困っていることや悩みごとを伺いました。そこで「自分たちが協力することでビジネスグランプリをさらに盛り上げていきたい！」という思いに至り、奈良ちほめんのプロジェクトが始動しました。

STEP.2 聴き取った3つの課題と企画書による提案

- ① 高校生へのイベント周知・広報活動に苦戦している（応募者数の要増加）。
- ② グランプリでは、一次選考を通過した高校生が自ら考えたビジネスプランをブラッシュアップし、グランプリ審査会に臨む。女性部員はコーディネーターとしてブラッシュアップのサポートをするが、高校生へのアドバイスに苦勞している。
- ③ ビジネスプランの審査は難しく、審査委員には様々な視点・経験を持った色々な立場の人をお願いしたい。



3つの課題に対応するため、奈良ちほめんのできることを企画書としてまとめ女性部に提案！



企画のポイント

その1 PR活動への貢献

CM動画の作成を提案。SNS発信を通じて高校生のエントリー促進を図る。

その2 ビジネスプランのブラッシュアップ

高校生が提案したビジネスプランを女性部指導員と奈良ちほめんが共同でブラッシュアップをサポート。

その3 グランプリ審査委員

最終のグランプリ審査委員を奈良財務事務所長が務める。



STEP.3 PR活動への貢献

～ちほめんが直接プレイヤーとして参画した地方創生～



平成30年5月、PRのための作戦会議を実施。高校生に効果的にアプローチする方法として、3つのプランが浮上しました。

プラン1 動画作成・SNS発信

…デジタルネイティブ世代の高校生には、SNSでの発信が必須！さらに文字だけではなく、動画があればPRしやすいはず！

プラン2 メディア出演

…一度に大勢の人にPRできる効果あり。高校生はもちろん、視聴した親御さんから働きかけがあるかも！

プラン3 ビラ配布

…デジタル頼みだけでなく、高校生に直接呼びかけることも大切！

プラン1 動画作成・SNS発信

動画撮影にノウハウを持つちほめんを中心に、「高校生の“地元愛”を喚起し、地域活性化を考えてもらう」をコンセプトに動画作りをスタートさせます。



立ち位置・アングル・台詞回しを調整



女性部の皆さんがCMに総出演



撮影後のカメラチェック



ナレーション担当の女性部長・事務局担当者のコメントを挿入

こだわって作り上げた動画を女性部のみなさんに披露。嬉しいお言葉もいただきました。



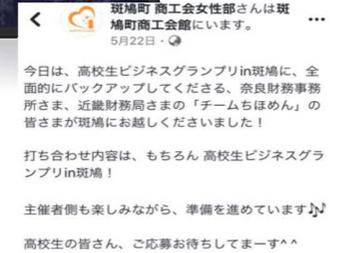
女性部からの声

非常に考えられたコンセプトのもと、**完成度の高い動画**となっていて感動した！動画でのPRは発想として思い浮かばなかった。

できあがった動画はYouTube (<https://youtu.be/hwJayf1L1Wo>)で配信。**斑鳩町商工会HP**への掲載や、SNS (Facebook, Twitter)でも発信してもらいました。



斑鳩のミライにキミのチカラを



プラン2 メディア出演

まずは『ならどっとFM』でラジオパーソナリティを務めている女性部員がいた繋がりから、奈良ちほめんのラジオ出演が実現しました。

平成30年6月19日 女性部長と生放送 & 外から見えるスタジオから応募を呼びかけ



平成30年7月3日 ちほめんの紹介も交えながら、ビジネスグランプリをPR



また、近鉄ケーブルネットワーク (KCN) 情報発信スタジオ『Kスタ!』にも出演しました。

平成30年7月17日 グランプリに応募するメリットなどをアピール



プラン3 ビラ配布

最後は、やはり高校生に直接訴えねばと、女性部のみなさんと一緒に、駅前でビラを配布しました。高校生の下校時間に合わせて実施し、高校生に直接ビジネスグランプリのPRを行いました。

興味をもって説明を聞いてくれる高校生もいて、手ごたえを感じました。

平成30年6月21日にJR法隆寺駅前、6月28日JR王寺駅前で、高校生の下校の時間を見計らいビラ配りでPR



ビジネスグランプリのPRを無事に終え、11件の応募をいただきました。まずは第一関門を突破です。



STEP.4 ビジネスプランのブラッシュアップ ～高校生のビジネスプランにちほめんの力を結集～

検討会（ワークショップ）の開催

平成30年9月10日、高校生に考案したビジネスプランをより良くしてもらうため、幅広い意見や様々な角度からアドバイスを提供したいと考え、奈良だけではなく、**近畿財務局のちほめん22名で、検討会（ワークショップ）を開催**しました。

ワークショップには松村部長と上村事務局長も参加！
奈良県内の実情やビジネスプランの背景などをお話いただき、活発な議論が交わされました。

冒頭、女性部長からグランプリの趣旨などについて説明いただき、部長の熱い思いが伝わります。



「高校生の柔軟な発想を活かすためにはどうすればいいのか」、高校生へのアドバイスを真剣に検討



ビジネスグランプリの成功を願い、全員で記念撮影



参加者説明会で高校生に直接アドバイス

9月16日、1次審査を通過した高校生を対象に、参加者説明会が斑鳩町中央公民館で開催されました。この日から、約4か月後の審査会に向けてブラッシュアップがスタートするというので、奈良ちほめんも参加し、高校生や女性部のコーディネーターと打ち合わせを行いました。

高校生が考えていることにじっくり耳を傾けるとともに、事前検討会での意見も踏まえて、今後のブラッシュアップの進め方などをアドバイスしました。

冒頭、昨年度（第1回・平成29年度）グランプリに輝いた高校生から、参加者にエールが送られました。



グループごとに打合せ。どのグループも和やかな雰囲気で行われました。



ちほめんそれぞれが担当のビジネスプランを受け持ちました。



これからのスケジュールや課題など、活発に意見交換。



各グループの様子を見守る当局総務課長と総務係長



説明会後も、高校生との打ち合わせに参加したり、女性部のコーディネーターと連絡を取りあうなど、グランプリ審査会までの間、高校生のブラッシュアップをお手伝いしました。

STEP.5 グランプリ審査会当日

平成31年1月27日、グランプリ審査会が斑鳩町中央公民館で開かれ、高校生は自身のビジネスプランについて、プレゼンテーションを行いました。

グランプリには、奈良県産の食材等を使ったクレヨン製造を提案した奈良工業高等専門学校藤野夏帆さん、準グランプリには、斑鳩町内の農業と再生可能エネルギーを活かした観光を提案した奈良女子大学附属中等教育学校の尾山郁人さん、女性部賞には、田原本町の伝統野菜・味間いもでベビーフード等の製造を提案した磯城野高校の栗山直也さんらが選ばれ、グランプリ審査会は無事終了しました。

グランプリ審査会の様子



審査会には、当所の米倉所長が審査員として参加するとともに、奈良ちほめんも審査会の運営をお手伝いしました。



審査員として米倉所長が参加。高校生に質問を投げかけました。



設営や受付、集計作業など、スタッフの一員としてお手伝いしました。



高校生×女性部のコーディネーター×担当のちほめん
で受賞の喜びを共有しました。



参加者交流会の様子

審査会後の参加者交流会では、高校生からグランプリに対する率直な意見を聞くことができました。達成感にあふれ、いきいきとした高校生の表情が印象的でした。

最後に

審査会終了後、主催者である女性部の松村部長からは、感謝とともに「ちほめんとの出会いは貴重であり、次に繋がるチャンスとなった。今後も地方創生に関して財務局と関わっていきたい」という嬉しいお言葉を頂戴しました。

女性部の皆さんには、今回のイベントを通じ、さまざまなサポートをいただき、深く感謝しています。



女性部の皆さんと奈良ちほめんで、グランプリが無事に終了した充実感を分かち合いました。

参加した高校生からは、「当グランプリに参加したことで、地元の食材や観光資源について詳しく知ることができた」という声や、「地元の商工業者とビジネスについて話すという普段は経験できない貴重な経験ができた」との感想が寄せられています。

このように、今回のグランプリが、次世代を担う若い世代へ地域に対する興味を持ってもらうきっかけになったことは確かです。

今後も、「高校生ビジネスグランプリin斑鳩」を契機として、ビジネスプランが実際の事業として展開されるなど、地域活性化の動きが広がっていくことを期待しています。



TEAM『奈良原石見つけ隊』（※チーム名は女性部も一緒になって考えていただきました）
松尾、一丸、野間、尾田、神谷、野村、北村、山下、伊藤、進藤

SUPPORTED BY 米倉所長、明石総務課長、杉財務課長、米虫理財課長、
西津係長、近畿財務局ちほめんPLUS